

# 便り

社会福祉法人 北友会

〒310-0903

特別養護老人ホーム 渡里すずらん苑

水戸市堀町字北ノ前95番地

ショートステイ・デイサービス

TEL 029-257-9555

ケアプランセンター

FAX 029-257-9666

http://www.watarisuzuranen.jp/ 編集者：石井 利明



# すずらん



かけがえのない人生に乾杯！  
**すずらん苑 敬老会**  
 ♪こよなく晴れた青空を悲しと思わせつなさよ♪ お馴染みサトウハチロー作詞の名曲「長崎の鐘」。今年は戦後七十年という節目の年を迎え、色々な追悼番組が放送されました。そのよくな中、平和への祈りと復興への願いが込められたこの歌も幾度か流され、その格調高い詩と

今日の平和で豊かな国へと築き上げてこられた世代の方々であります。そんな諸先輩の皆様の功績に感謝の気持ちを込めて、今年も「すずらん苑敬老会」を開催いたしました。

先ず第一部式典では、施設長より長寿者の表彰がありました。今年「喜寿祝」の方は、鈴木すみ様、「米寿祝」の方は、谷津はつ江様、鈴木かつ様、助川せん様、駒橋ヒロ子様、「白寿祝」の方は、田森あさの様、飛田いね様、岩崎ちる様でした。そして最高齢百二歳の石川与志子様「特別長寿祝」の表彰となり



袴塚市議会議員



高橋水戸市長



美しい旋律が、より一層心に響く年となりました。さて、当苑ご利用の皆様の平均年齢は八十八歳で、大正から昭和初期の生まれです。まさに七十年前、焼け野原となった日本を

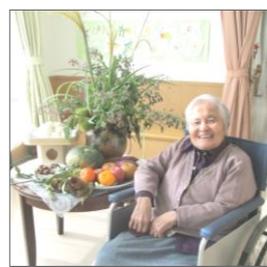
次に第二部のアトラクションでは、みなみ会の皆様により、「東京キッド」や「長崎の鐘」など戦後の日本人をなぐさめ、勇気づけてくれた歌を中心とした「懐かしの歌謡ショー」が開催されました。ご利用者の皆様方には、若かりし頃の思い出も甦る安らぎの一時となりました。そして、歌謡ショーを楽しんだ後には祝宴となり、ご家族様を代表して市川ハルミ様による乾杯発声後、長寿を祝う敬老御膳をいただきます。(九月二十日)



ました。続いて来賓としてご臨席いただきました水戸市長の高橋様、市議会議員の袴塚様より、入所者の皆様方にあたたかい祝福の言葉をいただきました。

残していきたい日本の風物詩

今年も中秋の名月を楽しもうと、お団子にカボチャや芋など秋の収穫物をそなえました。花瓶には中央にすすきを挿し、萩



の花と開きかけた毬栗や色付いた柿の枝を添えて仕上げました。



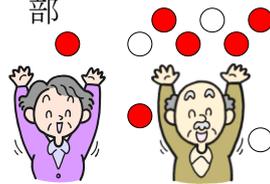
施設の中では、なかなか季節の変化を感じられません。当苑では日本独特の風習や行事を大



切に、季節感の味わえる環境作りを心掛けております。(二十七日)

十月の予定

- ◎ すずらん苑運動会
- ◎ 秋のドライブ
- ◎ 音楽療法
- ◎ 理学療法
- ◎ 絵手紙クラブ
- ◎ 唱歌クラブ
- ◎ カラオケ倶楽部
- ◎ 手作りおやつ
- ◎ すずらん喫茶



ひやびやと

日のさしてゐる

石榴かな

安住 敦

すずらん喫茶でお供え物を…

十五夜の翌日は皆でお供え物をご馳走になりました。「昔はお月見どろぼうと言ってお飾りを勝手に取つても良かった。」など

と昔談議に花が咲きました。

(九月二十八日)



ご家族様・施設職員懇談会

敬老会式典の午後は、「ご家族様・施設職員懇談会」が開催されました。最初に管理栄養士より、入所者の皆様の咀嚼や嚥下機能に合わせた食事形態の説明をさせていただきました。続いて皆様からの施設に対しての質問や要望などをお伺いいたしました。



皆様の貴重なご意見ありがとうございました。これからもより良い施設作りに努力してまいります。(九月二十日)

\*ご寄付\*

- 廣木 早苗様 安蔵 恵子様
- 岩崎 民子様 飛田 健一様
- 河原 誠二様 檜山 満 様
- 本田 昭一様 鈴木真由美様
- 久保田元治様 高橋 正道様
- 齋藤 研一様 鈴木百合子様
- 助川 孝一様

ありがとうございました

東京五輪音頭

作詞 宮田 隆  
作曲 古賀 政男

ハアー あの日ローマで  
ながめた月が ソレ トントントネ  
今日は都の空照らす アチョイトネ  
四年たったら また会いましよと  
かたい約束 夢じゃない  
ヨイシヨ コーリヤ 夢じゃない  
オリンピックの 顔と顔  
ソレトントントント 顔と顔

ハアー 待ちに待ってた  
世界の祭り ソレ トントントネ  
西の国から東から アチョイトネ  
北の空から 南の海も  
こえて日本へ どんときた  
ヨイシヨ コーリヤ どんときた  
オリンピックの晴れ姿  
ソレトントントント 晴れ姿

